



ヒューマンセントリックな視点から、 未来のモビリティ社会を拓く



人間中心の視点から学際的な研究・実証を推進

SMART

人と賢く調和

ドライバや周辺交通参加者との
調和を達成する知能の創出

DEPENDABLE

人に安心・納得させる

誰もが安心・納得して使える
システム設計のための方法論

HCM

ヒューマン
セントリック
モビリティ

ACCOMPANYING

人に寄り添う

利用者の心情を理解し多様な
選択肢から最適な選択を提供

ACCESSIBLE

人に役立つ

誰もが、いつでもどこへでも
ストレスなく移動できる仕組み

組織・実施体制



研究所長
高田 広章 教授

関連教員
150名超

国際連携アドバイザー
Prof. Masayoshi Tomizuka
(UCバークレー/名古屋大学 客員教授)



副所長
河口 信夫 教授

企画戦略室

室長 青木 宏文 特任教授



ディレクター
谷川 史郎 特任教授

プロジェクト戦略ボード

先進ビークル 研究部門

部門長 鈴木 達也 教授
副部門長 出口 大輔 准教授

教員・研究員 39名

モビリティサービス 研究部門

部門長 河口 信夫 教授

教員・研究員 7名

社会的価値 研究部門

部門長 森川 高行 教授
副部門長 松原 豊 准教授

教員・研究員 20名

研究テーマ例

- 1 説明できる運転知能技術
- 2 リアルタイムに周辺交通参加者と合意形成する技術
- 3 個人個人に適合する運転支援・自動運転技術
- 4 モビリティの需給取引とそのプラットフォーム
- 5 過去を再現し、未来を予測する大規模交通シミュレータ
- 6 モビリティシステムの安全性を説明する手法
- 7 CASE化を見据えた地域交通システム
- 8 CASE時代に必要とされる道路利用料金システム
- 9 新しいモビリティシステムのリスクマネジメントと社会受容性
- 10 レベル4自動運転移動サービスを実装するための法制度